

2 新たな基本構想策定に向けた 論点整理



目次

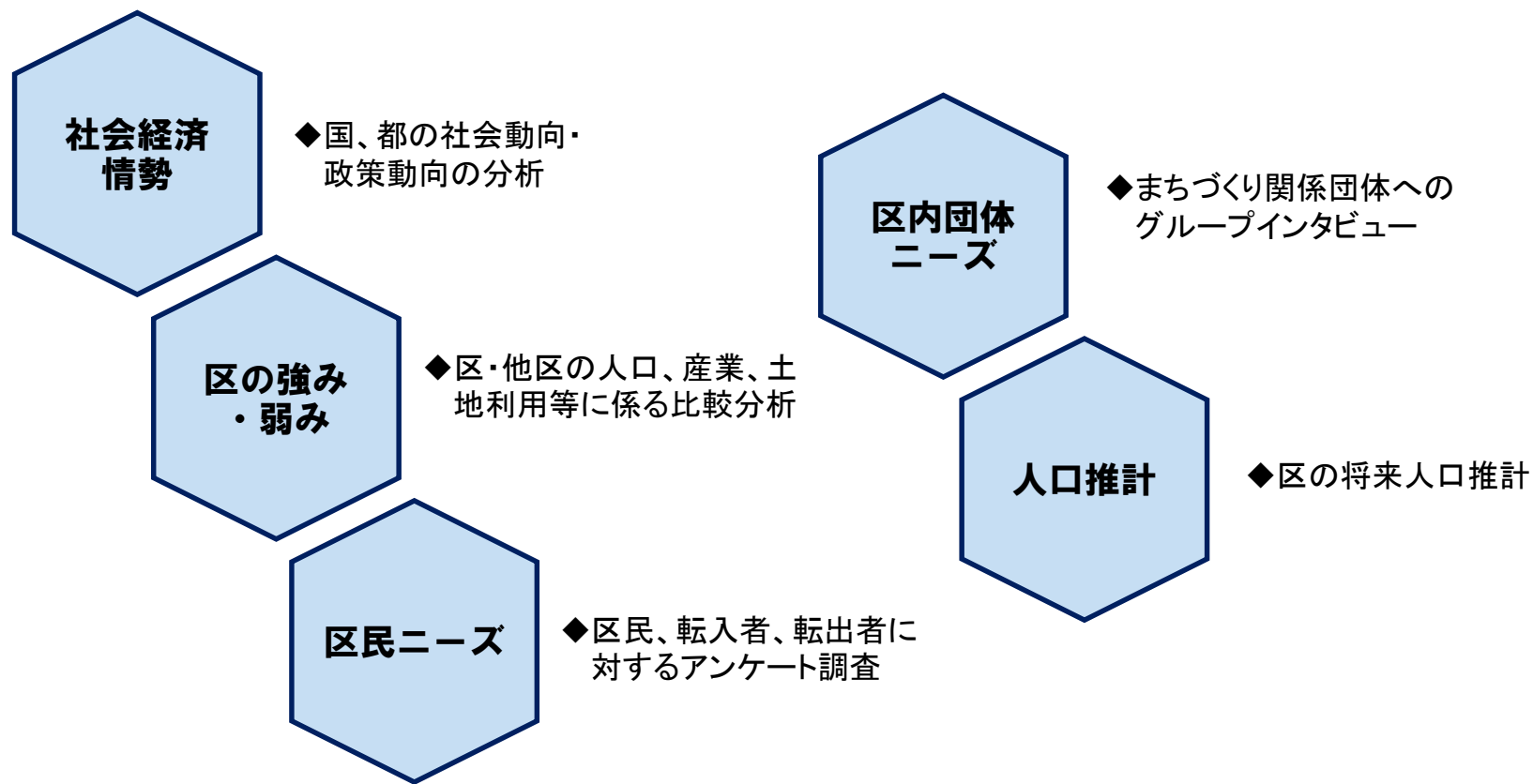
新たな基本構想策定に向けた論点整理

- 1 社会経済情勢の分析
- 2 区の強み・弱みの分析
(現状と課題の整理、**SWOT**分析)
- 3 区民ニーズ調査
- 4 区内団体調査
- 5 将来人口推計
- 6 これからの墨田区のまちづくりの論点



ひと、つながる。
墨田区

調査実施概要



これからの墨田区のまちづくりの論点を検討

国・都の動向と区への影響の見込み

暮らし続けたいまち

子ども・子育て

- ✓ こども基本法の施行
- ✓ こども家庭庁の設置
- ✓ 結婚・出産・子育てにおける切れ目のない支援や教育の質の向上等へのニーズ上昇
- ✓ 総合的な子育て政策への期待

まちづくり

- ✓ 新たな住環境基本計画の閣議決定
- ✓ 空き家や住宅ストックの増
- ✓ マンションの2つの老いの進行
- ✓ ウォーカブルなまちづくりへの期待

地域コミュニティ

- ✓ 町会・自治会等のDX
- ✓ 地域コミュニティ内の主体間の連携

健康・福祉

- ✓ 誰一人取り残さないインクルーシブな地域共生社会の実現への期待

防災・防犯

- ✓ 災害対応に係るDX
- ✓ 誰一人取り残さない避難対策
- ✓ 災害に強くしなやかなまちづくり
- ✓ 特殊詐欺やSNS関連犯罪への対応
- ✓ 子どもに対する犯罪被害予防

国・都の動向と区への影響の見込み

働き続けたいまち

産業

- ✓ スタートアップ支援の加速化
- ✓ 中小企業の事業承継の円滑化
- ✓ アフターコロナの働き方改革

共生社会

- ✓ 女性活躍
- ✓ 仕事と生活の両立の推進
- ✓ 外国人の増加を見込んだ共生社会の実現
- ✓ 性の多様性の尊重

訪れたいまち

文化・歴史

- ✓ 無形文化財を含む文化財の保護
- ✓ 文化施設の事業領域の拡大
- ✓ 想像的で多様な文化芸術活動が実施される社会の実現

観光

- ✓ 持続的な観光地域づくりのための人材育成
- ✓ DX等による利便性・生産性向上
- ✓ インバウンドの復活
- ✓ 緑地・河川空間の有効活用

国・都の動向と区への影響の見込み

分野横断的な動向

人口

- ✓ 少子高齢化への対応
- ✓ 人口減少への対応

デジタル化

- ✓ DX・Society5.0・生成AI等の新技術の地域産業・行政への活用

資源・エネルギー

- ✓ カーボンニュートラルやESG投資への対応
- ✓ シェアリングエコノミーの社会的な意識の高まり

スポーツ振興

- ✓ 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした共生社会や地域活性化、健康づくり、生きがいの創出

暮らし続けたいまち

切れ目ない子育て支援・環境の充実

◆内的要因・外的要因の整理

	Positive	Negative
内的要因	強み (S) <ul style="list-style-type: none"> 婚姻数が多い・出生率が高い 保育所数が多い 公共賃貸住宅戸数が多い 	弱み (W) <ul style="list-style-type: none"> 年少人口比率が低い 小学校数、中学校数が少ない (※)
	外的要因	機会 (O) <ul style="list-style-type: none"> 子ども政策の充実 政策への子どもの意見反映の必要性 地域連携による教育の充実 元気な高齢者の増加（健康寿命の延伸） 千葉大学、情報経営イノベーション専門職大学誘致による効果

◆今後の区の施策のあり方

強み×機会	弱み×脅威	強み×脅威	弱み×機会
結婚から学校教育まで切れ目のない子育て支援や地域資源の活用等による子どもの育成環境の充実	地域コミュニティとの連携による学校教育の充実や地域コミュニティの活動体制や基盤の強化	シティプロモーションの強化や地域における子育て環境の充実による子育て世帯の定住と転入の促進	区政への子どもや子育て当事者等の意見の反映による子育て世帯の転入促進

※総人口に対する近隣区・同規模区との学校数比較。面積当たりの学校数は23区中6番目に多い。

暮らし続けたいまち

地域力日本一の住んでよかったまちづくり

◆内的要因・外的要因の整理

	Positive	Negative
内的要因	強み (S) <ul style="list-style-type: none"> 転入超過率が高い 公共賃貸住宅戸数が多い 	弱み (W) <ul style="list-style-type: none"> 公園面積が小さい 悪性新生物、心疾患による死亡率が高い 建物倒壊、火災とも災害危険度が高い 学術研究・専門・技術サービス業事業所数が少ない
	外的要因	脅威 (T) <ul style="list-style-type: none"> 全国的な高齢化の急速な進展 地域コミュニティの活力低下 自然災害の激甚化、頻発化
外的要因	機会 (O) <ul style="list-style-type: none"> 子ども政策の充実 政策への子どもの意見反映の必要性 地域連携による教育の充実 地域共生社会の取組みへの支援 元気な高齢者の増加（健康寿命の延伸） ウォーカブルなまちづくりへの支援 事前対策による災害被害抑制 千葉大学、情報経営イノベーション専門職大学誘致による効果 	

◆今後の区の施策のあり方

強み×機会	弱み×脅威	強み×脅威	弱み×機会
子育て世帯をターゲットとした移住・定住の促進や、高齢者が住み続けられる地域づくりの推進	高齢者の健康づくりの促進・支援の充実、地域における共助による災害時要支援者への対策の強化	魅力ある生活環境整備による転入者の定住促進や公共賃貸住宅の活用による住宅確保要配慮者対策の充実	ウォーカブルなまちづくりや災害に強いまちづくりの推進、大学等の連携による地域経済・産業の発展、高度化の促進

働きつづけたいまち

◆内的要因・外的要因の整理

	Positive	Negative
内的要因	強み (S) <ul style="list-style-type: none"> 事業所数が多い 製造業事業所・従業者数が多い 卸売業・小売業事業所数が多い 宿泊業・飲食サービス業事業所数・従業者数が多い 	弱み (W) <ul style="list-style-type: none"> 情報通信業事業所数・従業者数が少ない 学術研究・専門・技術サービス業事業所数・従業者数が少ない
	外的要因	機会 (O) <ul style="list-style-type: none"> スタートアップ支援策の拡充（墨田区産業共創施設「SUMIDA INNOVATION CORE」の開業等） Society5.0 を実現するデジタルテクノロジーへの期待 DX・GXへの政策的支援の拡大 男女ともに対等な立場で活躍できる社会の進展 千葉大学墨田キャンパス、情報経営イノベーション専門職大学の誘致による効果

◆今後の区の施策のあり方

強み×機会	弱み×脅威	強み×脅威	弱み×機会
多様な創業形態や事業ステージに応じたスタートアップ支援の充実や女性起業家の支援	企業内部での人材育成・能力開発の支援による中小企業の経営基盤強化や新分野進出等の促進	中小企業を対象としたDX推進や生産性向上の支援、商店街の店舗施設を活用した創業支援の充実	大学や地域など多様な主体との連携による、持続的なイノベーションモデルの構築

訪れたいまち

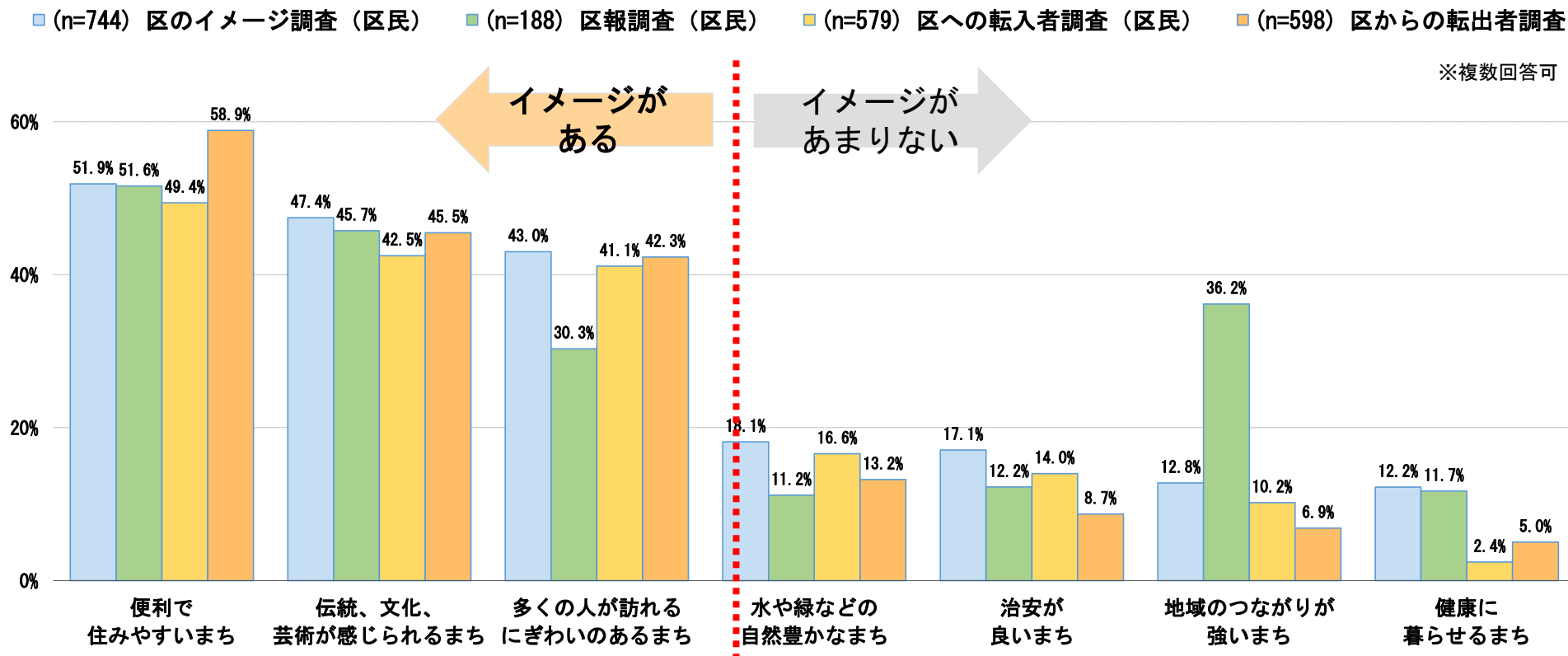
◆内的要因・外的要因の整理

	Positive	Negative
内的要因	強み (S) <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造業事業所数・従業者数が多い ・ 卸売・小売事業所数が多い ・ 宿泊業・飲食サービス事業所数・従業者数が多い ・ 商業地区の土地利用面積割合が高い ・ 近隣商業地域、商業地域の用途地域面積割合が高い 	弱み (W) <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人人口が少ない ・ 昼間人口が少ない ・ 公園面積が小さい ・ 図書館数・面積・蔵書数・貸出数が少ない
	外的要因	機会 (O) <ul style="list-style-type: none"> ・ 円安傾向・ポストコロナによるインバウンドへの期待 ・ 大阪・関西万博の開催 ・ 都市公園や河川占用の運用の多角化 ・ ウォークラブルなまちづくりへの規制緩和やオープンスペース整備の活発化 ・ 博物館事業や文化財保護の領域拡大

◆今後の区の施策のあり方

強み×機会	弱み×脅威	強み×脅威	弱み×機会
インバウンド向けの商業環境の充実・回遊性の高い都市歩行空間の充実	外国人観光客向けの災害対策の強化・昼間市民等を交えた市民活動の活発化等による関係人口との関係性の強化	ものづくりのまちを活かした人材育成、後継者や継承者の発掘・商業施設や商店街と連携した防災力の強化	大阪・関西万博を見据えた外国人受け入れ態勢の充実・博物館・図書館との連携による社会教育の更なる充実

・ 現在の区へのイメージ



補足

「区のイメージ調査」: 満18歳以上区民3,000名無作為抽出、郵送配布、郵送・インターネット併用回収(R5.8~R5.9実施、有効回答数744名、回収率24.8%)

「区報調査」: インターネット調査(R5.9.11~R5.9.30実施、区報「すみだ」、区ウェブサイト、SNS(facebook、X(旧twitter))より回答募集)

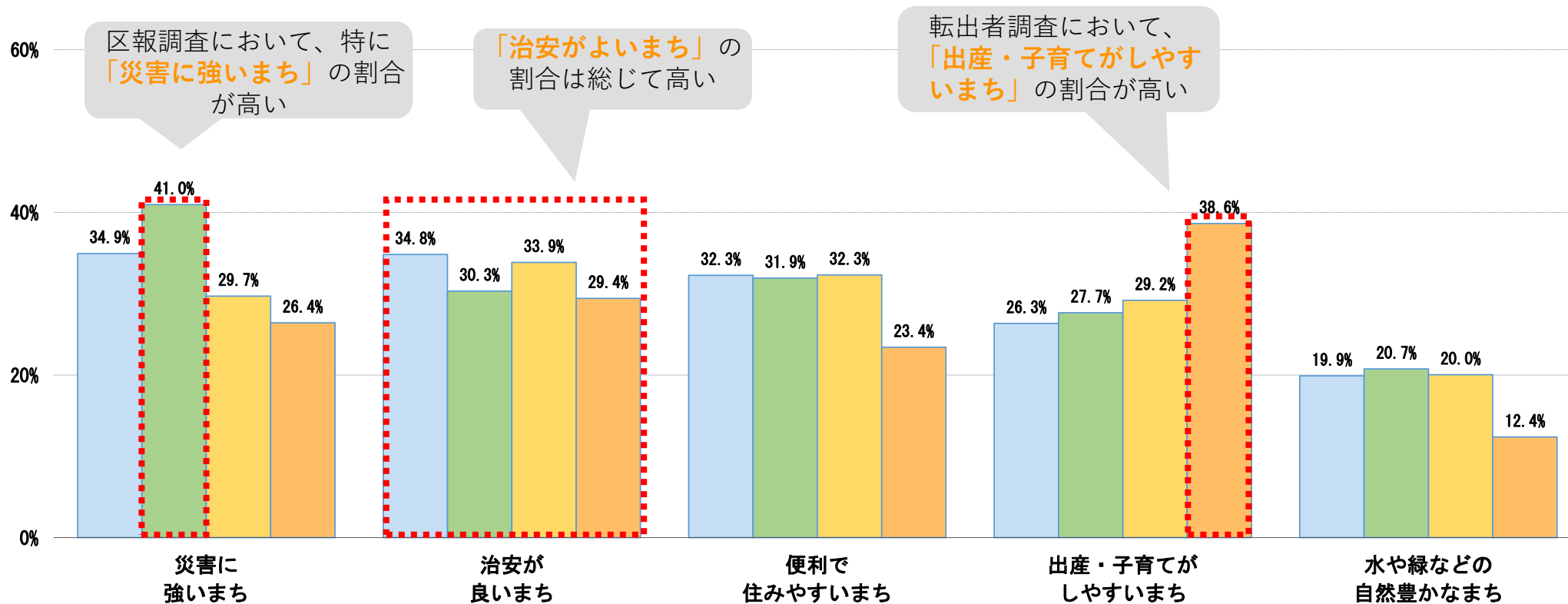
区への「転入者調査」: R4.6~R5.6の期間における区への転入者2,000名無作為抽出、郵送配布、郵送・インターネット併用回収(R5.8~R5.9実施、有効回答数395名、回収率29.0%)

区からの「転出者調査」: R4.6~R5.6の期間における区への転入者2,000名無作為抽出、郵送配布、郵送・インターネット併用回収(R5.8~R5.9実施、有効回答数387名、回収率29.9%)

3. 区民ニーズ調査

・ 今後区へ期待するイメージ（上位5項目）

■ (n=744) 区のイメージ調査（区民） ■ (n=188) 区報調査（区民） ■ (n=579) 区への転入者調査 ■ (n=598) 区からの転出者調査
※複数回答可

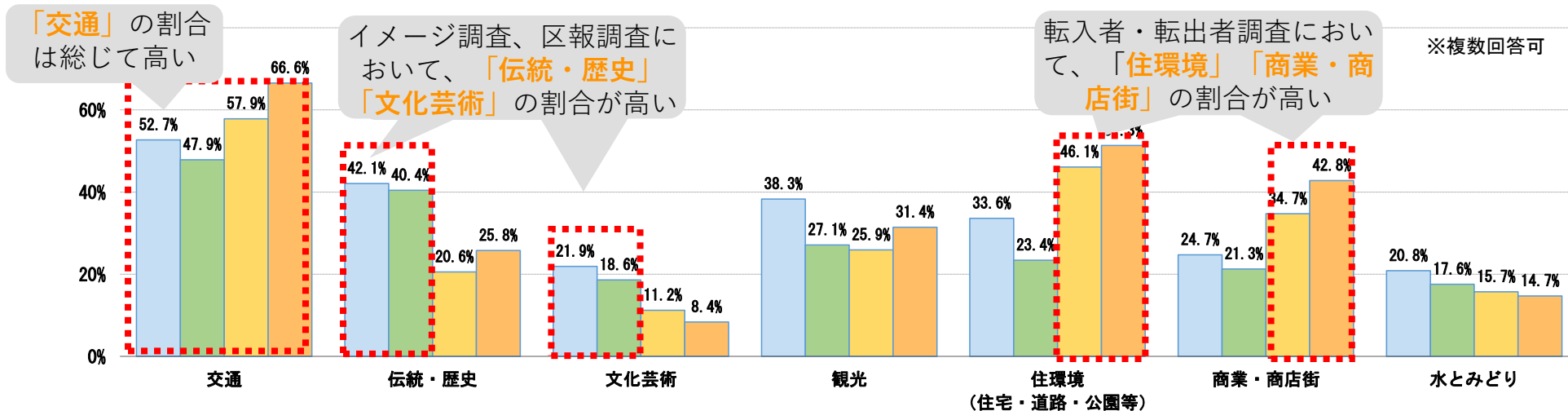


3. 区民ニーズ調査

・ 区に満足している点

本編 P 40,48,54,59

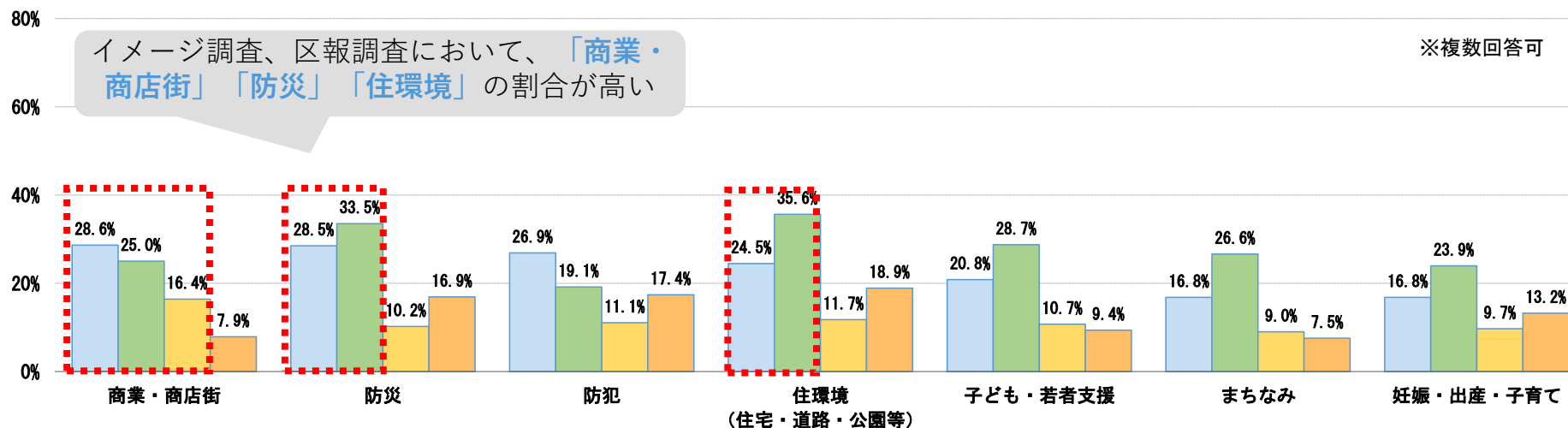
■ (n=744) 区のイメージ調査 (区民) ■ (n=188) 区報調査 (区民) ■ (n=579) 区への転入者調査 ■ (n=598) 区からの転出者調査



区に不満がある点

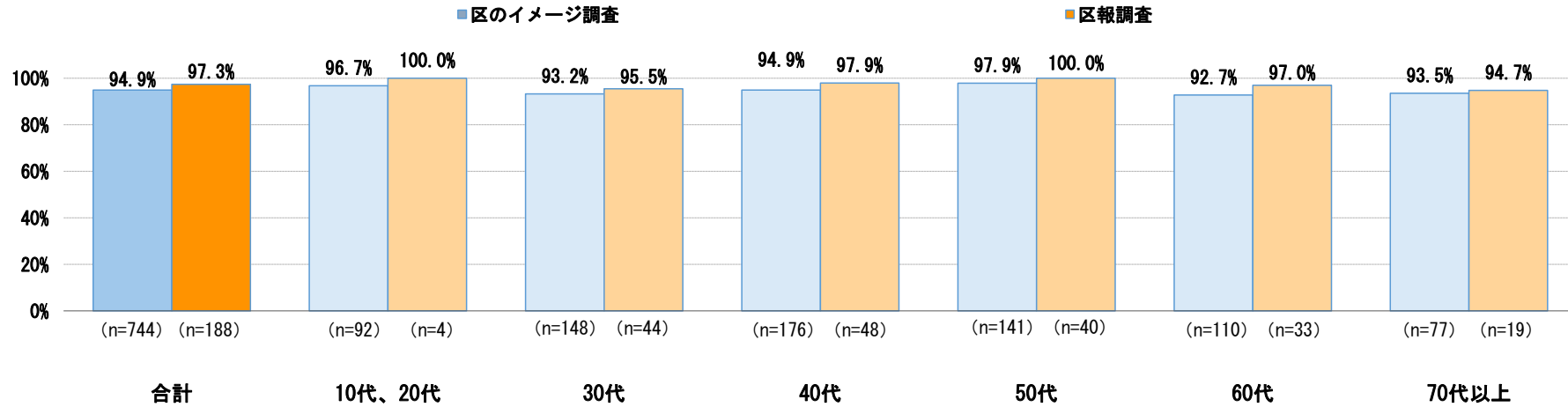
本編 P 41,49,55,60

■ (n=744) 区のイメージ調査 (区民) ■ (n=188) 区報調査 (区民) ■ (n=579) 区への転入者調査 ■ (n=598) 区からの転出者調査



・ 地域課題の解決やまちづくりへの区民参画の重要性

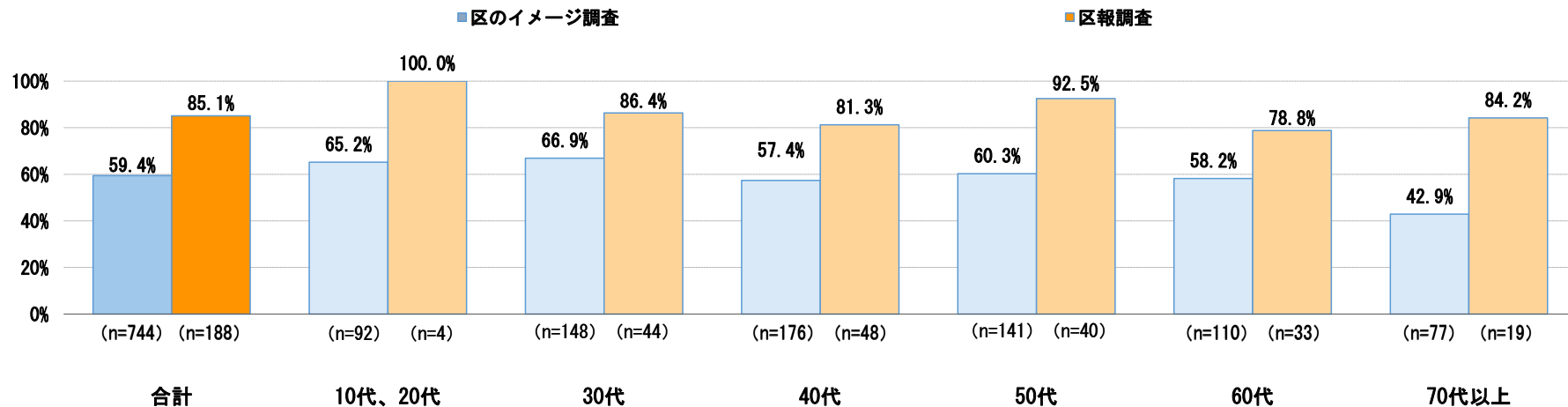
地域課題の解決やまちづくりへの区民参画の重要性は高いと認識されている



※区民参画の重要性について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合の合計（重要であると回答した区民の割合）

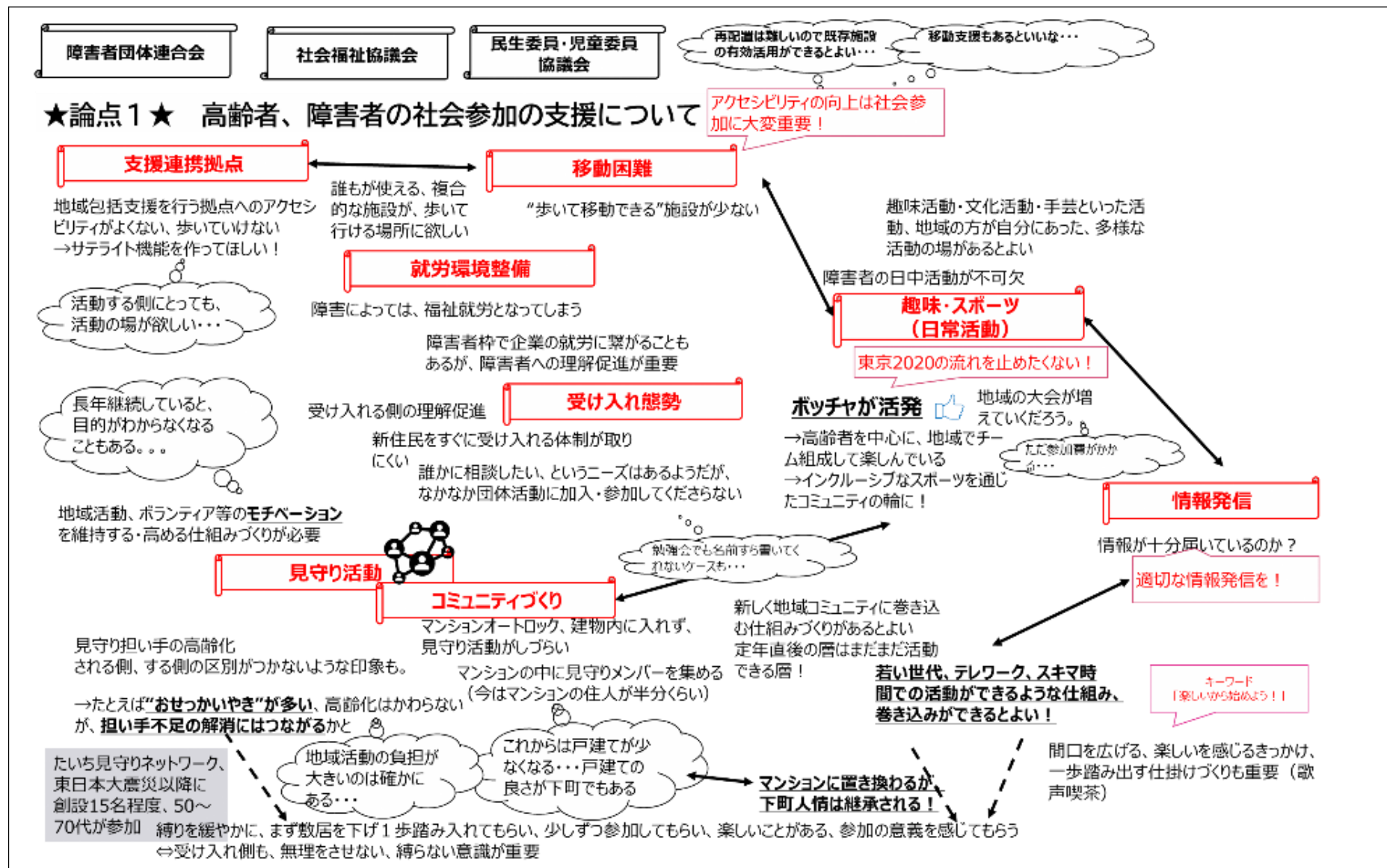
地域課題の解決やまちづくりへの区民参画への参加意向

一定の参加意向がうかがえる



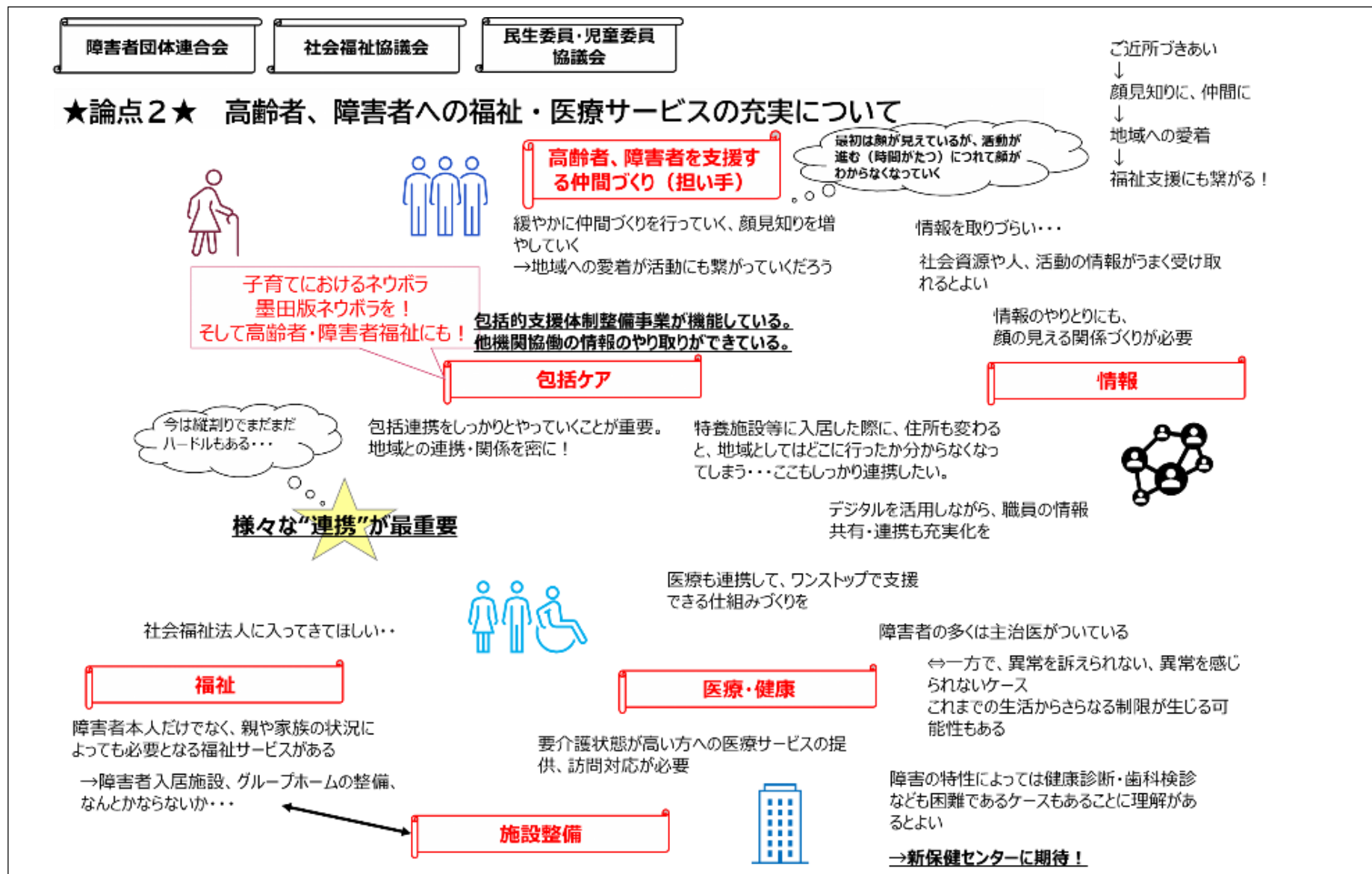
※区民参画への参加意向について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合の合計（参加したいと回答した区民の割合）

・ 福祉・医療分野 ～高齢者、障害者の社会参加の支援～



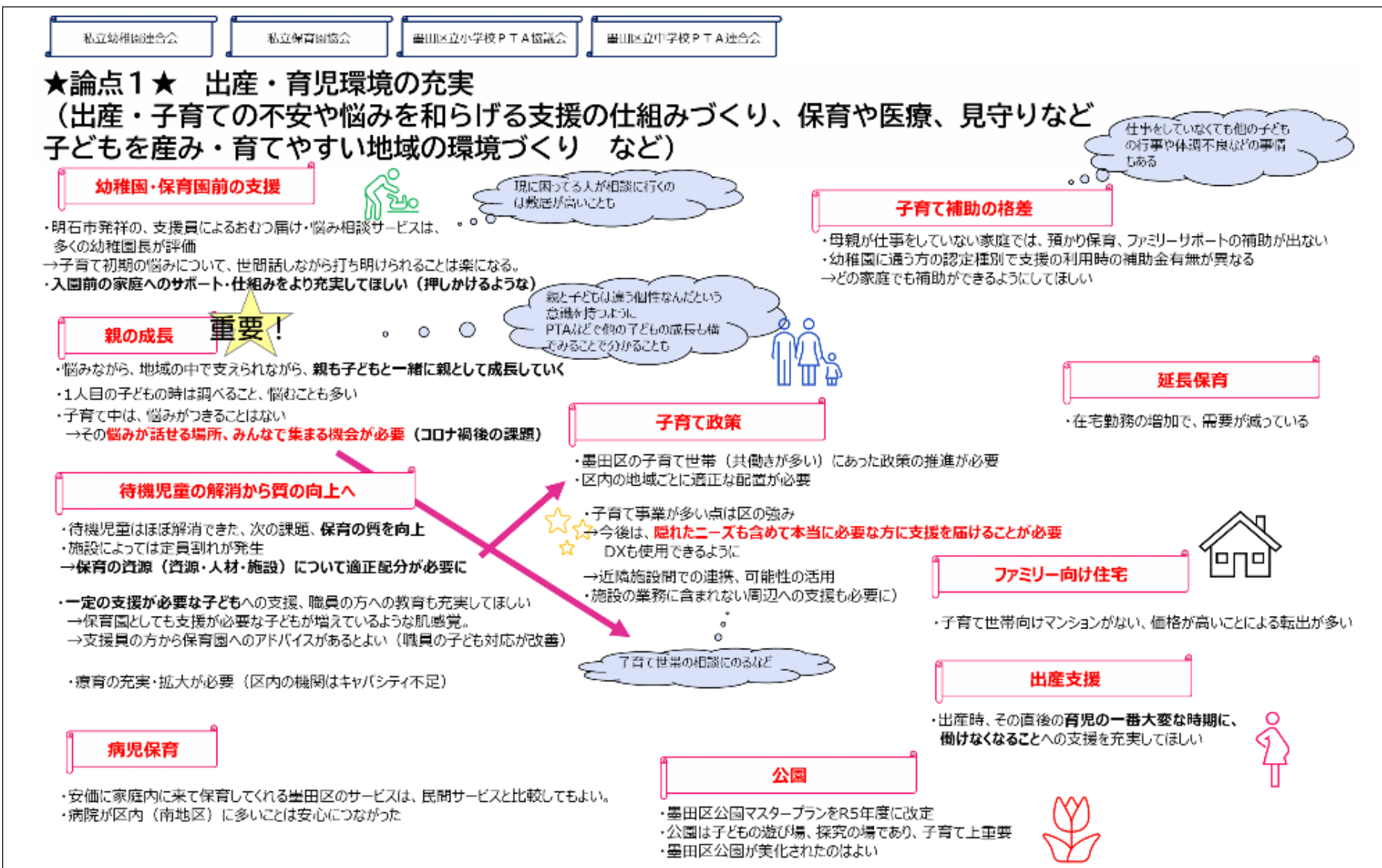
4 区内団体ニーズ

福祉・医療分野 ～福祉・医療サービスの充実～



4 区内団体ニーズ

子ども・子育て分野 ～出産・育児環境の充実～

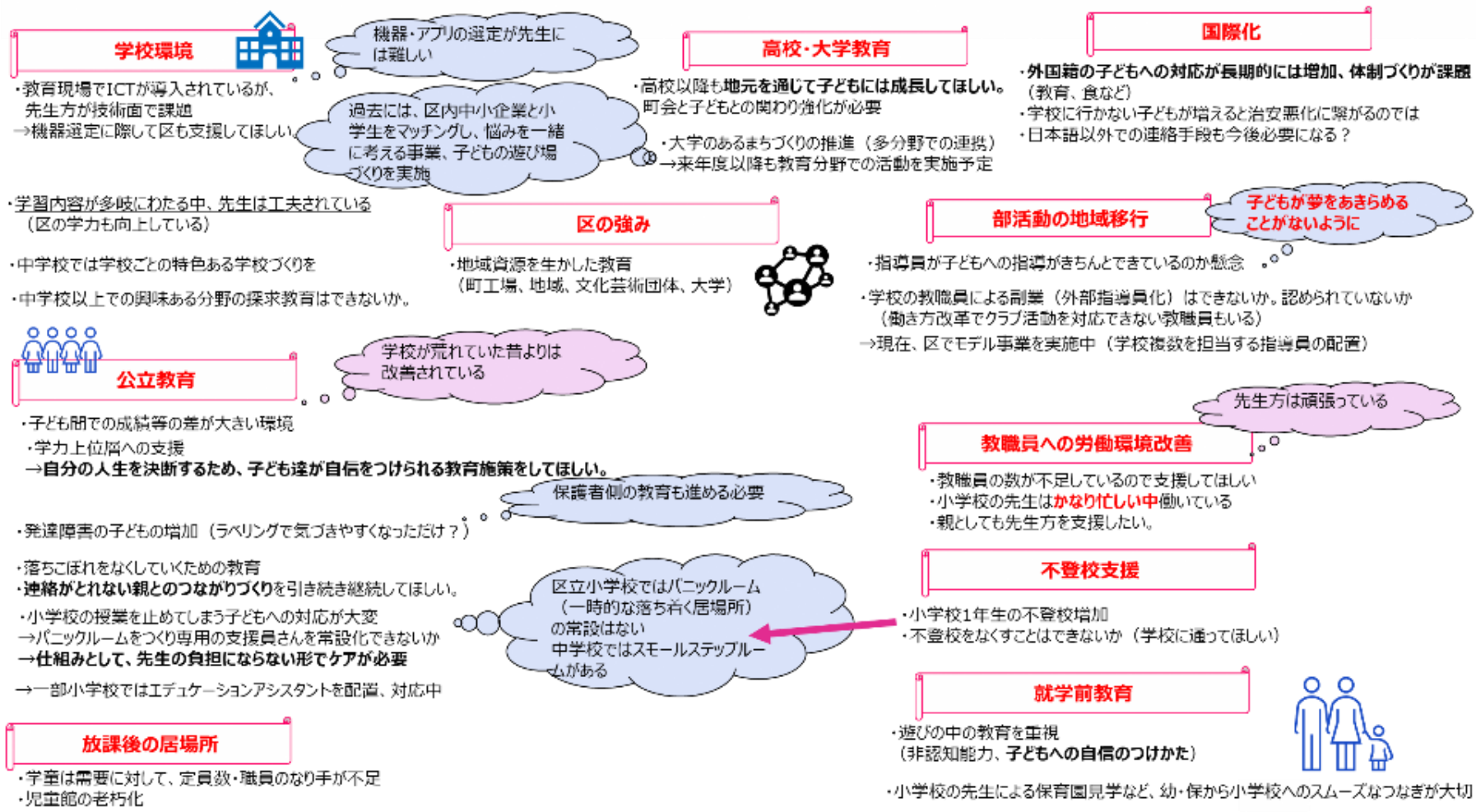


4 区内団体ニーズ

子ども・子育て分野 ～就学前教育、学校教育の充実～

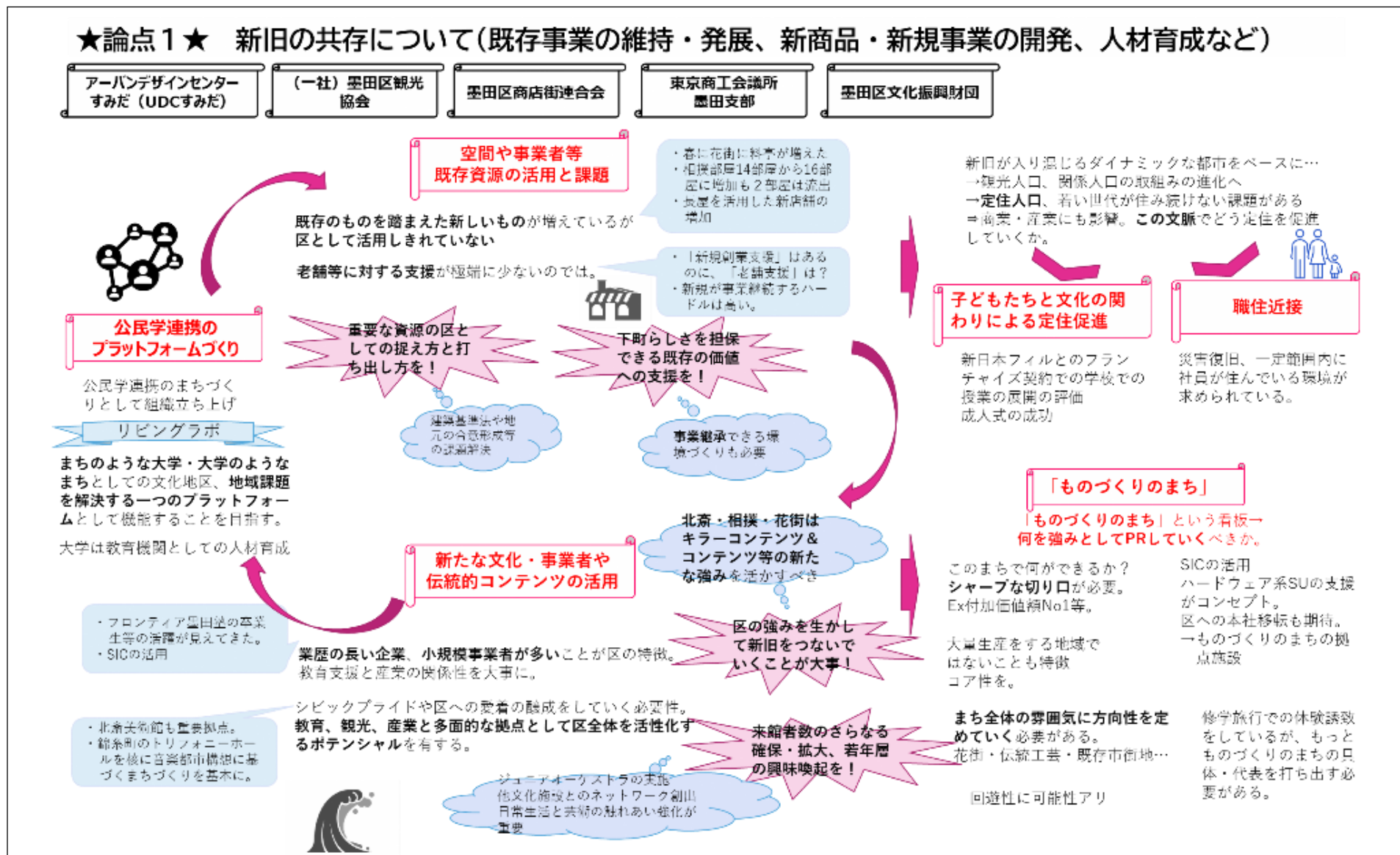
- 嵐山区立中学校PTA連合会
- 嵐山区立小学校PTA協議会
- 私の保育園協会
- 私立幼稚園社会会

★論点2★ 就学前教育、学校教育の充実 (地域人材の活用や、大学との連携、ICTの活用、教職員の育成など、就学前教育、学校教育の質の向上)



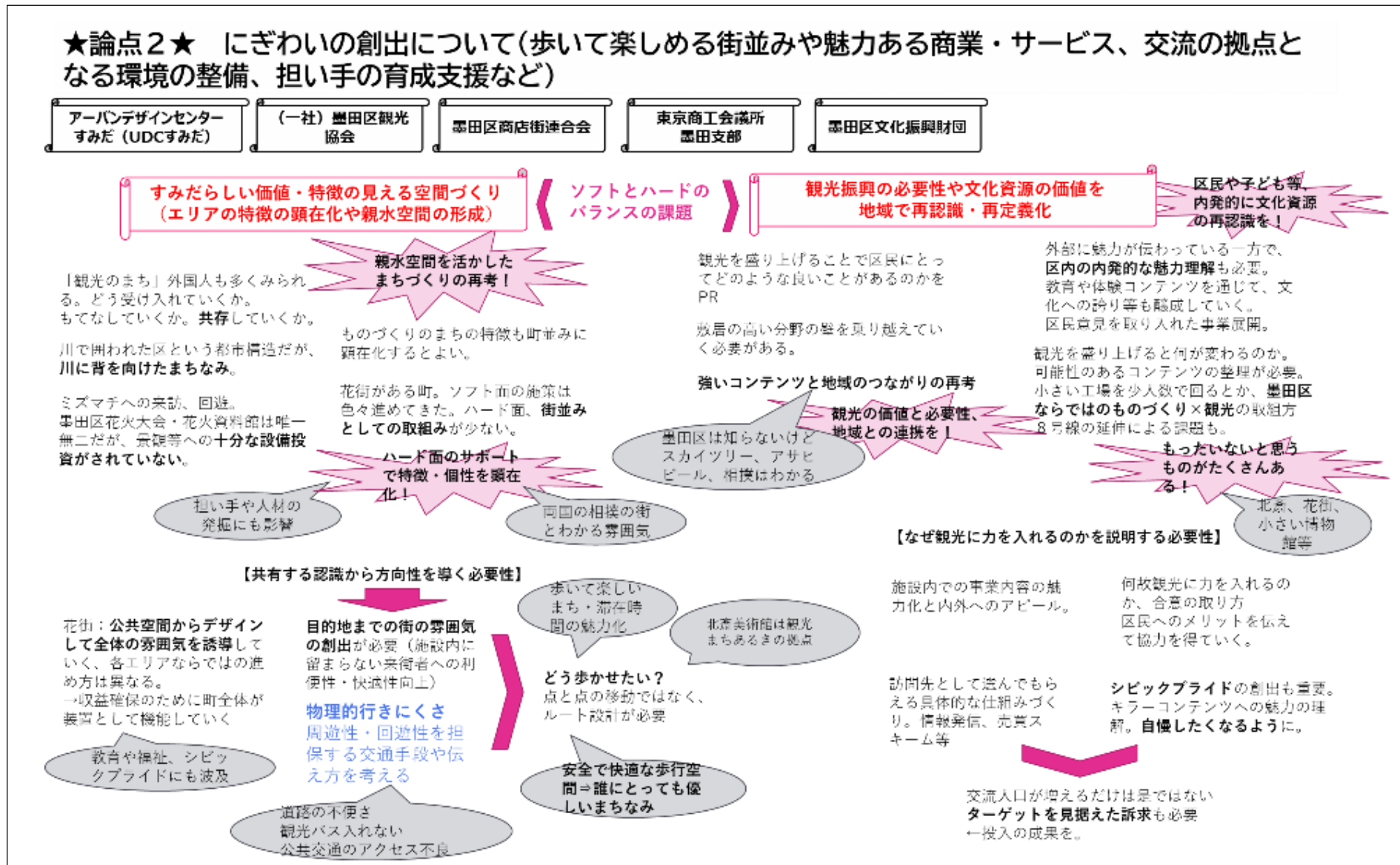
4 区内団体ニーズ

産業・観光・文化分野 ～新旧の共存～



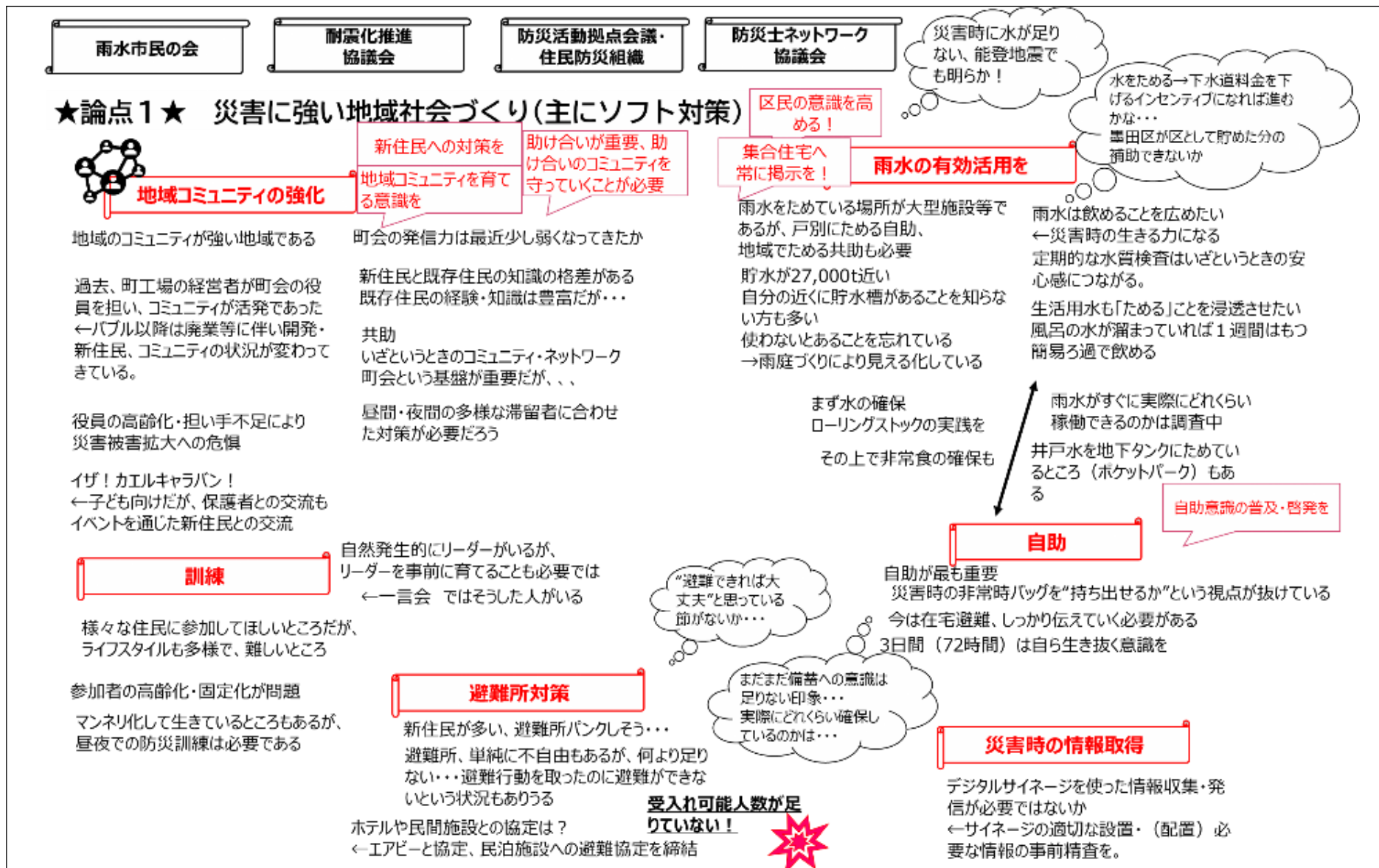
4 区内団体ニーズ

- 産業・観光・文化分野 ～にぎわいの創出～



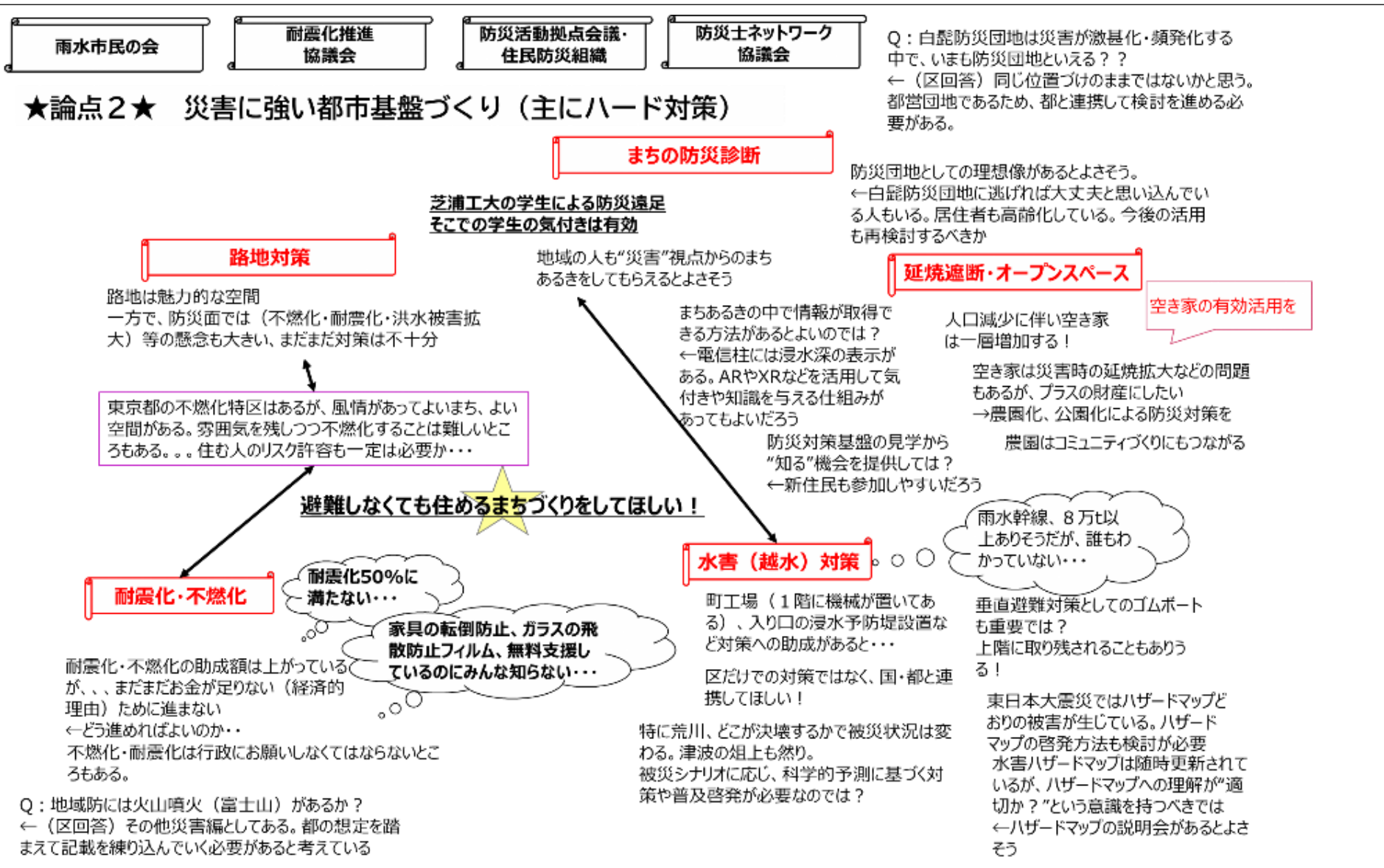
4 区内団体ニーズ

・ 防災・まちづくり・環境 ～災害に強い地域社会づくり～

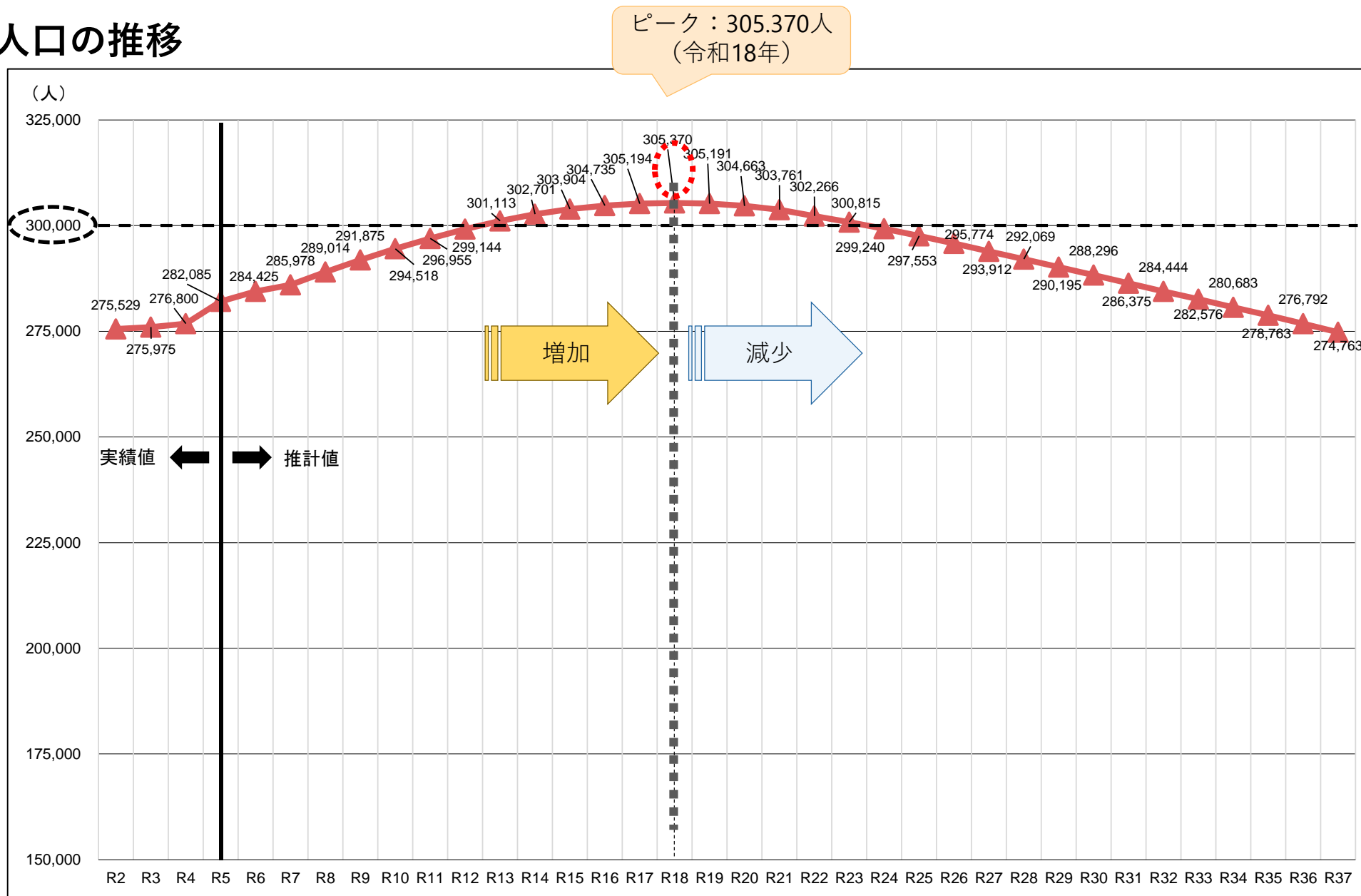


4 区内団体ニーズ

・ 防災・まちづくり・環境 ～災害に強い都市基盤づくり～

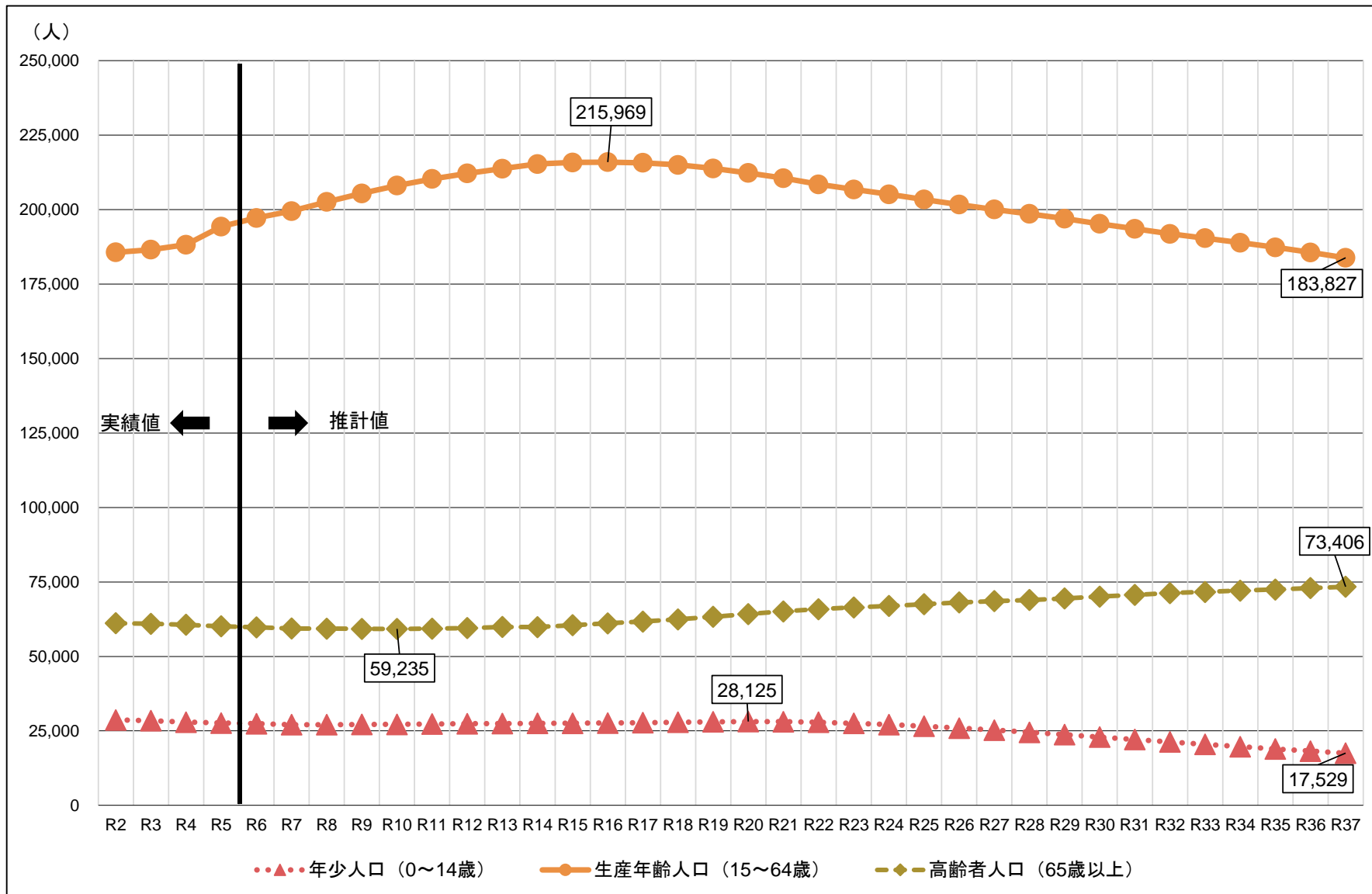


総人口の推移



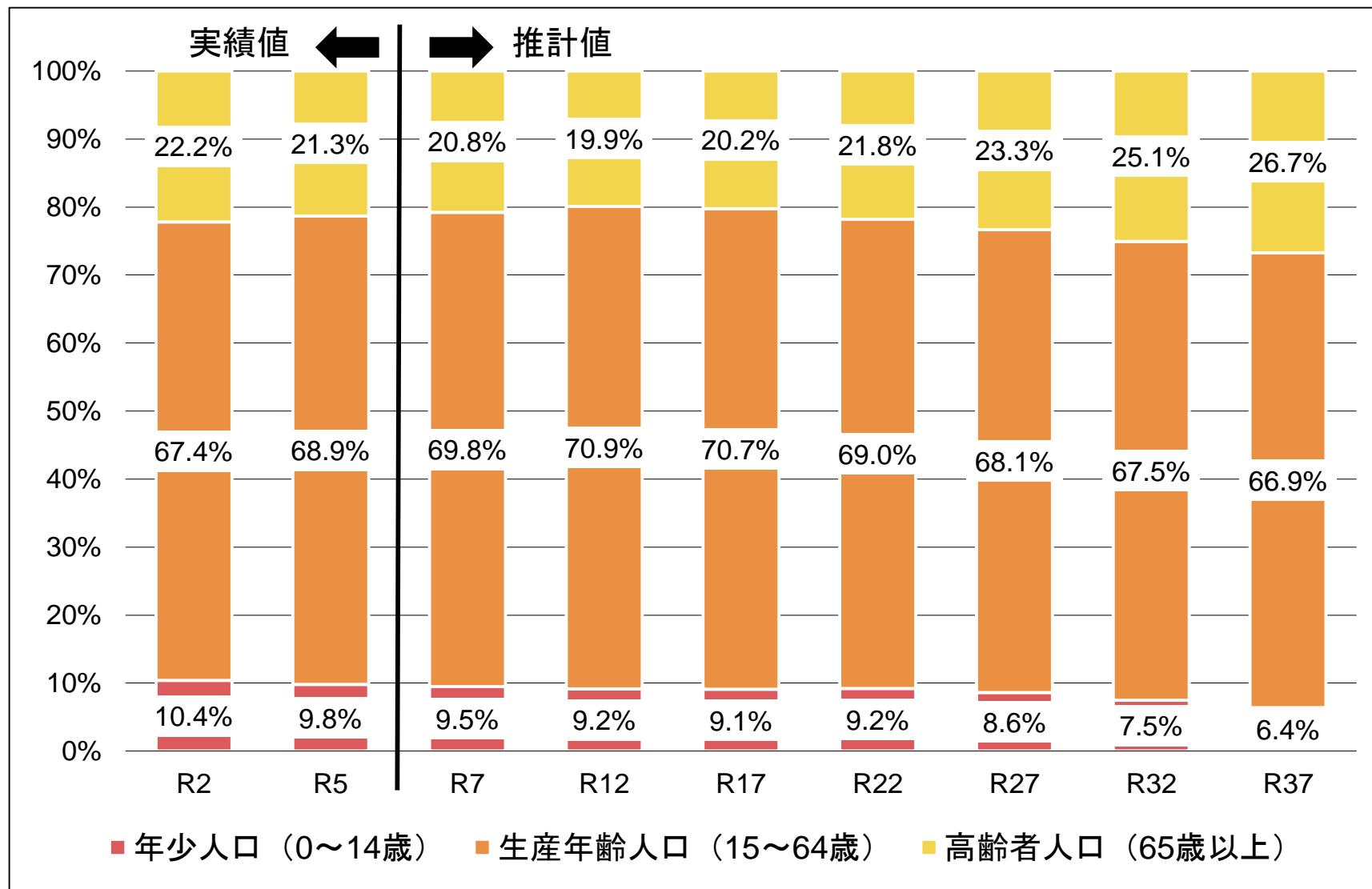
5 将来人口推計

• 年齢3区分別人口の推移



5 人口推計

・ 年齢3区分別人口構成比の推移



社会経済情勢

- ✓ 子ども政策の推進が重要である。
- ✓ あらゆる分野におけるDXの推進が求められる。
- ✓ 超高齢化、人口構造の変化に伴う影響の考慮とインクルーシブ社会の推進が必要である。
- ✓ スタートアップ支援の加速化、中小企業の事業承継の円滑化、働き方改革が重要課題となっている。

区の強み・弱み

- ✓ 子どもを産み・育てやすく、居住地として選ばれるための子育て支援施策の充実が必要である。
- ✓ 盛んな製造業、卸売業・小売業を強みとしつつ、担い手不足や事業継承の課題解決に向けた取組が求められる。
- ✓ 災害に対する脆弱性の解消が必要である。

区民ニーズ

- ✓ 交通や伝統・文化、観光などに満足している一方で、防災や住環境、商業機能に対しては不満傾向があり、これを解消する必要がある。
- ✓ まちづくり等への区民参画の重要性は高いと認識、参加意向が一定あることから、区民が参画しやすい機会の創出が望ましい。

区内団体ニーズ

- ✓ 子ども・子育て分野では、出産・育児環境の充実、相談体制の強化、教育のICT化、教職員の働き方改革が重要である。
- ✓ 福祉・医療分野では、連携拠点のアクセシビリティ、障害者の就労環境整備、地域包括ケア体制の充実が求められる。
- ✓ 産業・観光分野ではものづくりのまちとしての強みの整理や、区の魅力としてあらゆる資源の活用が必要である。
- ✓ 防災・まちづくり分野では、不燃化・耐震化の促進、浸水対策強化などの都市基盤整備などの推進が求められる。
- ✓ 各分野に共通して、人口減少、少子高齢化社会における様々分野におけるコミュニティづくりが挙げられ、区としてこれを支援・強化する必要がある。

人口推計

- ✓ 人口は令和18年の30.5万人をピークに減少する見込みである。
- ✓ また、少子高齢化が進展し30年以内に高齢者率は25%となる見込みであり、こうした人口構造への変化への対応が求められる。